

支部だより

九州支部「気象教室」の報告

九州支部では、気象知識の普及を目指して8月29日(日)に「気象教室」を福岡市にある九州大学国際研究交流プラザで開催しました。

前年はテーマを「大雨」とし、多くの方に好評を頂きました。今回は九州の人にとって一番興味があると思われる「台風」をテーマにしました。

参加申し込み数は過去最高の99名でしたが、当日は台風16号が九州南部に接近中という状況で、結果としては前年とほぼ同数の71名の方が参加されました。

演題と講演者は以下のとおりです(敬称略)。

1. 台風の基礎知識

伊藤 久徳(九州大学理学研究院)

2. 台風の予報と防災情報

永田 雅(福岡管区気象台)

3. 台風の観測と予報改善に向けた最新の研究状況

別所康太郎(気象研究所台風研究部)

今回のプログラムでは、まず台風そのものの基礎について簡単な実験も交えながら説明し、次に現在の台風予測技術を解説、最後に将来の観測や予報にむけての最新の研究を紹介するという流れになりました。

参加者へのアンケート結果によると、今回の参加者は小学生から年配の方まで幅広い年齢層で、職種別では技術系の会社員・公務員の割合が多く、気象予報士の方も多かったようです。講義内容については昨年同様大部分の人が「満足した」、同様の催しが来年もあるなら「来年も参加したい」と概ね良い反応が得られました。小学生が前列に座って、少々難しいであろう講演にうなずきながら聞いていたのが印象的でした。

今回の気象教室は台風の接近直前という状況でしたが、無事終了することができました(福岡では翌日は暴風雨でした)。講演いただいた講師の方々及び運営に関わった方々に厚く御礼申し上げます。

事務局だより

2005年個人会費の納入等について

1. 2005年個人会費の納入について

2005年の会費等の請求時期となりました。事務局では、12月初めに請求書を送付すべく準備を進めています。つきましては、会費等の納入に関して下記のように行いますのでご承知おき下さい。なお、定款により会費は前納制となっています。

- (1) 12月初めに、2005年の会費と2004年中にお送りした大会予稿集(85, 86号)及び気象研究ノート(205, 206号)の代金の請求書を併せて送付させていただきます。なお、会員制度に関する定款改定の申請が11月5日に文部科学省より認可されましたので、高年会員に対する割引制を2005年会費から実施します。代金の納入は、各会員で申請されている、以下の(2)、(3)の方法により納入して下さい。
- (2) 納入方法が、郵便局からの振込みの方は、請求書と一緒に送りする「払込取扱票」により年内に振り込まれるようお願いいたします。

- (3) 納入方法が、預・貯金口座及びカードからの引落しによる方は、2005年2月初めに各口座からの引落しをさせていただきますので残高の確認をお願いします。

2. 機関誌の配送方法の変更について

10月号より「天気」等の機関誌の配送方法を変更しました。郵政公社では2004年4月より冊子小包を大量に送付する場合に料金の大幅な割引制度を導入しました。この制度を利用すると機関誌の配送料が半額以下にもなる場合があり、気象学会でもこの制度を利用することにしました。なお、この制度では、第三・四種扱いから冊子小包扱いとなること、配送の差出人(気象学会の場合は「東京発送」)を明記すること、配送日数が従来より一日程多く掛かる場合があること等の制約・デメリットがあります。しかし、配送料が大幅に安くなることから会員各位の了解をいただくようお願い致します。(社)日本気象学会事務局